

研究名：周期性斜視の臨床像と治療経過の検討

1．研究の目的

周期性斜視は、斜視の日と斜視のない日が周期的に交代する特異な斜視のタイプで、両目で物を立体的に見る能力（両眼視機能）が低下し、複視や眼精疲労を起こす疾患です。内斜視、外斜視、上斜視ともに周期を起こす原因や病態が不明で、予防や治療法が確立していません。

本研究の目的は、当センター眼科で経過観察・治療を行った周期性斜視の原因、症状、検査結果、合併症、治療法と経過、視機能の予後について検討し、病因・病態の究明につなげ、今後のよりよい治療に役立てることです。

2．研究の方法

研究対象:当センターにて2003年3月～20~~23~~¹⁸年~~12~~⁵月に斜視検査等を行って、周期性斜視と診断された方

研究期間：2018年5月～202~~7~~²年3月

研究方法:眼科的検査所見や経過を診療カルテから後方視的に解析し、臨床像と治療経過、視機能の予後に関して検討を行います。新たにお問い合わせすることはありません。

3．研究に用いる試料・情報の種類

患者さんの年齢、性別、初診日、斜視の発症経過と症状、視力・屈折・眼位・両眼視機能の検査結果、合併疾患、経過観察期間、治療法と経過、治療後の視機能の予後（視力、眼位、両眼視）など

患者さんの氏名などの個人情報には調査対象ではなく、検査所見のみを使用いたします。

4．試料・情報の公表

研究の成果は学会や学術誌で公表いたします。

5．研究実施機関

国立成育医療研究センター

6．お問合せ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

○照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

国立成育医療研究センター 眼科 仁科幸子

住所：東京都世田谷区大蔵 2 - 1 0 - 1

電話：0 3 - 3 4 1 6 - 0 1 8 1

○研究責任者：

国立成育医療研究センター 眼科 仁科幸子